



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,702	5.2	282	13.8	307	15.8	234	3.0
2023年3月期第1四半期	5,422	8.8	327	2.9	365	5.3	242	33.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 284百万円 (1.9%) 2023年3月期第1四半期 279百万円 (42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	19.25	
2023年3月期第1四半期	20.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	19,399	6,096	31.4	497.17
2023年3月期	16,576	5,620	33.9	477.61

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,096百万円 2023年3月期 5,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		8.00		8.00	16.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期 第2四半期配当金、期末配当金の内訳: 普通配当 7円00銭、創立50周年記念配当 1円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	6.0	750	11.1	1,000	7.9	650	7.9	55.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結累計期間より、静岡ローストシステム株式会社、マルサン萩間茶株式会社を連結の範囲に含めております。詳細については、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	13,495,248 株	2023年3月期	13,495,248 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	1,231,818 株	2023年3月期	1,726,963 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	12,203,577 株	2023年3月期1Q	11,748,485 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料価格高騰は落ち着きを見せ、個人消費の拡大から内需を中心とした景気の持ち直しが見られます。

こうした状況の中、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、自販機運営リテイル事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,702百万円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益282百万円（同13.8%減）、経常利益307百万円（同15.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益234百万円（同3.0%減）となりました。

なお、4月の静岡ローストシステム株式会社及びマルサン萩間茶株式会社の子会社化に伴い、株式取得付随費用57百万円が発生しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

自販機運営リテイル事業におきましては、昨年10月の自販機運営を行う子会社2社の統合による営業力の強化、自販機の売価適正化に加えて、管理部門の効率化が最大となるようスピードを持って対応を図っております。また、全国に広がる拠点の採算性向上に不可欠なM&Aは引続き実施してまいります。

6月には自社ブランド商品として、ワインで使用されるぶどう品種のストレート果汁をブレンドして仕上げた「ありのままぶどうスパークリング」を発売しました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は3,346百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は28百万円（同93.1%増）となりました。

② 飲料製造事業

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の値上がりに対応した価格設定を行い収益性の改善を進めると共に、炭酸缶ラインの東西2拠点体制による営業力の強化を推進しております。

また昨年8月に子会社化した株式会社河村農園では市場ニーズに寄り添った健康茶の開発を進め、4月に子会社化した静岡ローストシステム株式会社は焙煎・加工技術を活かし、マルサン萩間茶株式会社はECサイトを強化し広く営業を展開しております。

この結果、飲料製造事業の売上高は2,262百万円（前年同四半期比5.0%増）、4月に子会社化した2社の株式取得付随費用57百万円が発生しており、セグメント利益は329百万円（同13.1%減）となりました。

③ 不動産運用事業

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は34百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は51百万円（同1.1%減）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高54百万円を含めると88百万円となります。

④ その他事業

その他の事業におきましては、ロジックイノベーション株式会社がALCおよび岡山物流部門を強化すると共に、グループ内物流の2024年問題対応の中心となって体制整備を行っています。

この結果、その他事業の売上高は59百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期は4百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,882百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加1,218百万円、受取手形及び売掛金の増加453百万円、商品及び製品の増加143百万円及び原材料及び貯蔵品の増加60百万円等によるものです。また、固定資産は11,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ940百万円増加いたしました。これは建物及び構築物（純額）の増加700百万円、機械装置および運搬具（純額）の増加133百万円及び投資有価証券の増加73百万円等によるものです。

この結果、総資産は19,399百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,822百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,354百万円増加いたしました。これは買掛金の増加661百万円、短期借入金の増加1,290百万円、未払金の増加102百万円、未払法人税等の増加85百万円、未払消費税等の増加67百万円、賞与引当金の減少63百万円及びその他の増加174百万円によるものです。また、固定負債は2,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少118百万円、リース債務の減少39百万円及びその他の増加149百万円等によるものです。

この結果、負債合計は13,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,346百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加234百万円、剰余金の配当による減少94百万円及び株式交換による自己株式の減少に伴う増加258百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は31.4%（前連結会計年度末は33.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077	2,296
受取手形及び売掛金	2,654	3,107
商品及び製品	834	977
原材料及び貯蔵品	258	318
前払費用	188	183
その他	684	698
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	5,696	7,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,836	2,537
機械装置及び運搬具(純額)	2,539	2,672
工具、器具及び備品(純額)	46	51
土地	3,833	3,819
リース資産(純額)	432	402
建設仮勘定	81	78
有形固定資産合計	8,771	9,562
無形固定資産		
のれん	155	163
ソフトウェア	51	46
リース資産	36	32
その他	23	29
無形固定資産合計	267	272
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179	1,252
長期前払費用	265	252
繰延税金資産	53	96
その他	387	427
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	1,841	1,984
固定資産合計	10,880	11,820
資産合計	16,576	19,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,357	3,019
短期借入金	2,910	4,200
1年内返済予定の長期借入金	820	869
リース債務	217	204
未払金	746	849
未払法人税等	106	192
未払消費税等	87	154
賞与引当金	140	76
その他	647	822
流動負債合計	8,035	10,389
固定負債		
長期借入金	2,275	2,157
リース債務	335	296
再評価に係る繰延税金負債	34	34
退職給付に係る負債	142	142
その他	131	281
固定負債合計	2,920	2,912
負債合計	10,955	13,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,012	1,033
利益剰余金	5,046	5,094
自己株式	△900	△642
株主資本合計	5,957	6,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	63
土地再評価差額金	△462	△363
為替換算調整勘定	93	111
その他の包括利益累計額合計	△336	△187
純資産合計	5,620	6,096
負債純資産合計	16,576	19,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,422	5,702
売上原価	3,302	3,437
売上総利益	2,119	2,265
販売費及び一般管理費	1,792	1,983
営業利益	327	282
営業外収益		
受取配当金	4	6
受取保険料	—	16
助成金収入	21	—
その他	29	25
営業外収益合計	55	48
営業外費用		
支払利息	8	8
持分法による投資損失	—	7
その他	9	7
営業外費用合計	17	23
経常利益	365	307
特別利益		
固定資産売却益	—	67
特別利益合計	—	67
税金等調整前四半期純利益	365	374
法人税、住民税及び事業税	117	156
法人税等調整額	5	△16
法人税等合計	122	139
四半期純利益	242	234
親会社株主に帰属する四半期純利益	242	234

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	242	234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	31
持分法適用会社に対する持分相当額	37	18
その他の包括利益合計	37	49
四半期包括利益	279	284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279	284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,176	2,155	34	55	5,422	—	5,422
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	130	54	9	197	△197	—
計	3,180	2,285	88	64	5,620	△197	5,422
セグメント利益又は 損失(△)	14	378	51	△4	441	△113	327

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△113百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、のれんの償却額0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△114百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,346	2,262	34	59	5,702	—	5,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	138	54	11	205	△205	—
計	3,347	2,401	88	71	5,908	△205	5,702
セグメント利益	28	329	51	0	409	△127	282

(注) 1. セグメント利益の調整額△127百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△128百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

飲料製造事業において、当社が静岡ローストシステム株式会社及びマルサン萩間茶株式会社の全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において12百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 静岡ローストシステム株式会社及びマルサン萩間茶株式会社

事業内容 茶葉の製造、加工、販売

②企業結合を行った主な理由

静岡ローストシステム株式会社及びそのグループ会社であるマルサン萩間茶株式会社が加わることにより、茶葉の製造から茶飲料の製造販売まで一貫して行える体制を整え、アシードブランド商品、ODM商品の幅を広げ、当社グループの企業価値向上を目指すためであります。

③企業結合日

2023年4月3日(株式取得日)

2023年5月31日(みなし取得日)

④企業結合の法的形式

現金及び当社株式を対価とする株式の取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率 100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が議決権の100%を取得し、連結子会社化したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみ連結しており、四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価(現金) 954百万円

(自己株式) 279百万円

取得原価 1,233百万円

(4) 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

①株式の種類別の交換比率

静岡ローストシステムの普通株式1株に対して当社の普通株式 11,515 株を割当交付しております。

②株式交換比率の算定方法

当社及び被取得企業から独立した第三者機関であるビズリンク・アドバイザー株式会社に株式交換比率の算定を依頼し、提出された報告書に基づき当事者間で協議のうえ算定しております。

③交付した株式数

495,145株

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額

12百万円

②発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして計上しております。

③償却方法及び期間

5年にわたる均等償却